



「新年度に向けて」

川崎医科大学高齢者医療センターは、開設から3年半が経過いたしました。市内の急性期病院ならびに先生方からのご紹介により、2025年度後半以降、病床稼働率は80%以上を維持し、外来患者数も増加しております。当院のコンセプトは「老年医学的見地を踏まえた多職種協働による高齢者診療の実現」であり、その実践に加えて大学病院として臨床研究にも取り組んでおります。入院では、地域包括ケア病床の入院患者を対象としたレジストリ研究を実施しており、急性期治療後の状態回復や在宅復帰に影響する因子について、疾患の重症度や機能障害の程度に加え、栄養介入やリハビリテーションを含む診療内容を体系的に収集・解析することを目的としています。外来では、もの忘れ外来においてレカネマブ治療に関する研究を、フレイル・老年症候群外来においては新規フレイル評価法の開発やサルコペニア改善を目的とした介入研究を実施しております。

今後も地域に根差した高齢者診療を実践しつつ、幸福長寿の実現に資する新たなエビデンスを発信していくことを使命として、引き続き尽力してまいります。本年度も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

(高齢者総合診療科 部長 杉本 研)

市民公開講座 サルコペニアについて知ろう！

2月6日(金)午後2時から、フレイルセンターにて、2月1日の「フレイルの日」にちなんで、今年1回目の市民公開講座「サルコペニアについて知ろう！」を開催しました。今回は身体的フレイルの中核をなす「サルコペニア」をテーマとしました。まず、高齢者総合診療科 杉本 研部長が「サルコペニアを知っていますか？」と題して、基礎知識の解説を行い、次に栄養室 鈴木 淑子室長が「サルコペニア予防まだ間に合う食事の第14回図書館ベストリーダー賞受賞者決定！コツ」と題して、筋肉の維持・増強に役立つ食事内容や食べ方を紹介しました。続いて医療福祉大学 健康体育学科 脇本 敏裕教授が「サルコペニアと運動の基本～基本を知って元気に動こう！！～」と題し、必要な運動の量や種類、習慣化のポイントについて実演を交えながら分かりやすく解説しました。51名の参加者が予防運動を楽しみながら実践し、活気あふれる講座となりました。

(高齢者総合診療科)



新任挨拶

このたび、川崎医科大学高齢者医療センターに着任いたしました段と申します。これまでは川崎医科大学附属病院の糖尿病・代謝・内分泌内科において、さまざまな患者様の診療に従事してまいりました。そこで培った経験を礎に、当センターでは多職種の方々と連携を図り、疾患のみならず患者様の生活背景や価値観に深く寄り添った医療の提供に尽力する所存です。一日も早く皆様のお力になれるよう、誠心誠意取り組んでまいります。至らぬ点多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

高齢者総合診療科 段和徳

退任挨拶

このたび、2年間勤務した川崎医科大学高齢者医療センターを離れ、川崎医科大学附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科で勤務することとなりました。

高齢者医療センターでは、治療から日常へ戻る患者様・ご家族を、多職種で治し支える貴重な経験を重ねることができました。ここで学んだ視点と姿勢を新たな環境でも生かしていきたいと思えます。

これまでお世話になりました皆様に心より御礼申し上げます。

高齢者総合診療科 竹之内晴香

外来表について

ご紹介いただいた患者様のご予約日を早められるよう、もの忘れ外来を木曜日午前に新設いたしました。もの忘れの気になる患者様などぜひご紹介ください。

		月	火	水	木	金	土
(午前) 8:30~ 11:30	01	柏原 直樹	もの忘れ外来 和田 健二	もの忘れ外来 和田 健二	もの忘れ外来 秋山 真樹	もの忘れ外来 和田 健二	当番医
	02		フレイル・ 老年症候群外来 杉本 研	角谷 裕之	フレイル・ 老年症候群外来 杉本 研	角谷 裕之	
(午後) 13:30 ~ 16:00	01	羽井佐 実	山本 稔也	角谷 裕之	秋山 真樹	杉本 研 羽井佐 実	
	02	安永 雅 (訪問リハビリテー ション外来)				安永 雅 (嚥下内視鏡外来)	



学校法人川崎学園 川崎医科大学高齢者医療センター
患者診療支援センター
〒700-0821 岡山市北区中山下二丁目1番80号
TEL **086-201-5280** (患者診療支援センター直通)
FAX 086-225-2051

受付時間

平日 8:30~11:30
13:30~16:00
土曜日 8:30~11:30